

平成31年度(令和元年度)

でーじわかりやすい!
よさんのはなし

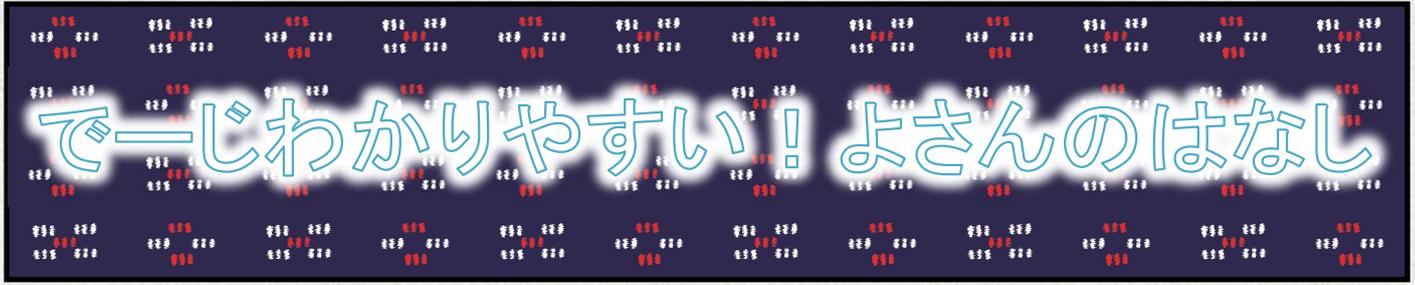


✕ ✕
あきさみよー!
でえーじ
わかり
やすいぜ!
✕ ✕

エイ坊
(沖縄市エイサーキャラクター)

令和元年5月

沖縄市



も く じ

1. よさんって何?	1
2. 一般会計のはなし【収入編】	3
3. 一般会計のはなし【支出編】	5
4. 特別会計のはなし	7
5. 今年のまちづくり	8
6. よさんが分かった♪	30

1. 「よさん」って何??

エイサーのまち宣言

日直さーちゃん



エイ坊

「よさん」って何のことかわかるかのお？
漢字で書くと「予算」。少し難しいイメージもあるし、自分には関係ないと思うだろう？
しかしこの「予算」というものは、わたらの生活にとっても身近なもので大事なもののじゃ。
だから、少し「予算」について勉強をしてみよう。

6月13日 木



さなじい

Question!!



で、「予算」って何なの？



「予算」とは、1年間の「収入」（入ってくるお金のこと）と「支出」（使うお金のこと）を計画してまとめたものじゃ。

みんなの生活を豊かにするために、市役所が色々な仕事を行うためには、1年間でどれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金が使えるかを、しっかりと計画しないとイケないのじゃ。



「予算」はどうやって決めるの？



市役所の担当者が、市民みんなの意見や提案などを聴いた上で、市長と一緒に話し合いながら、1年間に行う市民への行政サービスをしっかりと考えて、そのサービスに必要な予算の案を作るのじゃ。

そうして出来上がった予算案を、市長が「沖縄市議会」に提案し、市議会議員のみなさんとしっかりと話し合いを行って、そこで認められれば正式な予算として決まるのじゃ。

市長も市議会議員も、選挙によって選ばれた人たちなので、市民の代表者が、沖縄市の「予算」を決めているということじゃな。

Question!!



沖縄市の「予算」はいくらなの？



今年の沖縄市の予算額は次のとおりじゃ。（平成31年度）

① 一般会計予算	812億 600万円
② 特別会計予算	346億6571万円
合計額	1158億7171万円



「一般会計」と「特別会計」って？



沖縄市の「予算」には、「一般会計」と「特別会計」の2種類の予算があるのじゃな。

少し難しくなるが、それぞれの説明は次のとおりじゃ。

- ◎一般会計 → 福祉や教育、道路の整備など、市役所の基本的なサービスを行うための予算
- ◎特別会計 → 特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算（詳しくは7ページ）



ここまで「予算」について、いろいろ勉強してきたが、まだまだ分からないことがたくさんあるじゃろう。

次のページからは、「一般会計」の予算の内容について、もう少し詳しく勉強してみよう！！

少しずつ
わかってきたやっさ~



2. 一般会計のはなし 【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



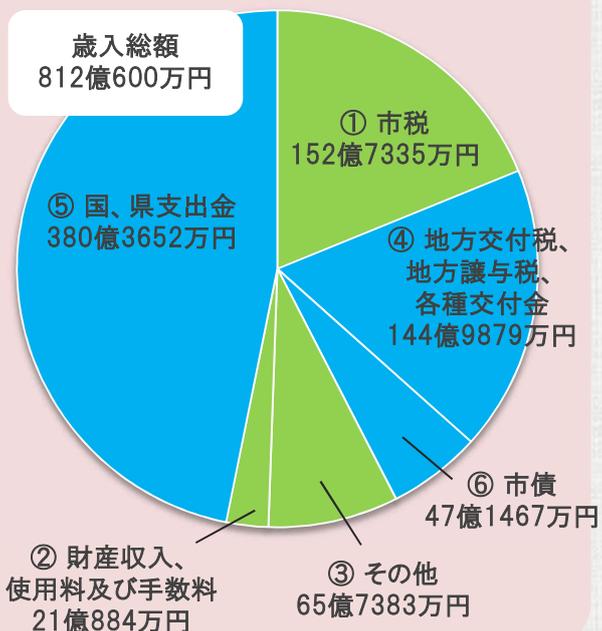
収入ってなんだったっけ??



収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年一般会計の歳入予算をみてみよう。

平成31年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明

財源	項目	説明
自主財源	①市税	市民が沖縄市に収める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。使いみちは市で決めることができます。
	⑤国、県支出金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。国や県からの支援であり使いみちが決まっています。
	⑥市債	国や民間の金融機関などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で812億円余りのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金のことじゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ〜く分かったよ♪

借金（市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、そういうことじゃな。



でも、借金しちゃって大丈夫なの！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

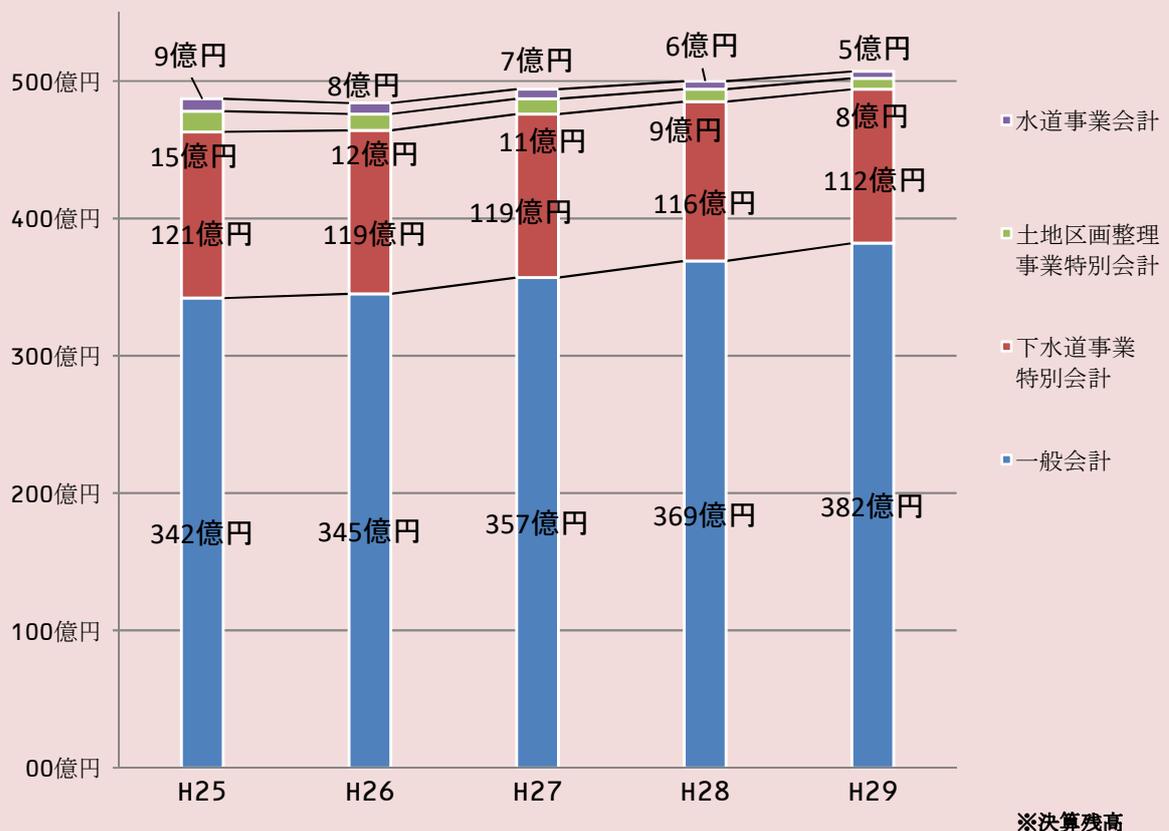
その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もの長い間みんなでするものだから、今使う人だけじゃなくて、これからあと使う人も含めてみんなで平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

借りたお金は、これまた何十年という期間をかけて返していくのじゃ。



なるほど！借金をするにはちゃんとした理由があるんだね！納得したよ♪

市債残高の状況



3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）

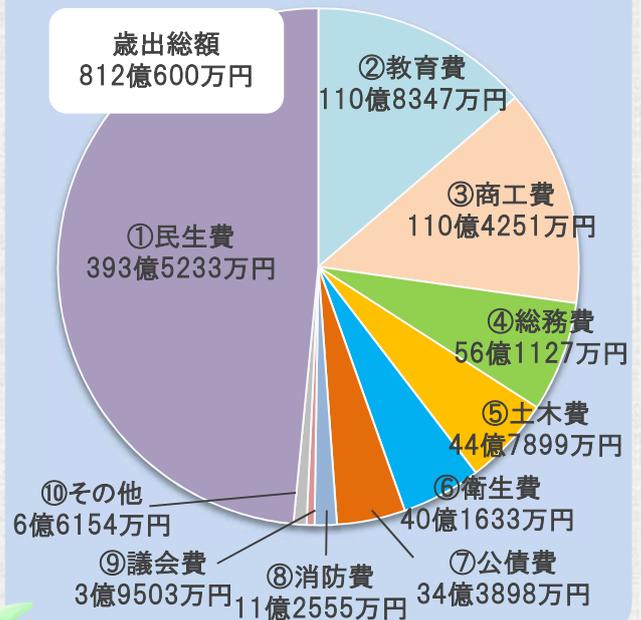


収入の次は「支出」の勉強かな？
でていくお金だよな？



そのとおりじゃよ。そして、
1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。
また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。
まずは、お金を使う目的ごとに分けている「目的別」の歳出予算をみてみよう！

平成31年度 一般会計歳出予算(目的別)



歳出（目的別）の各項目の説明

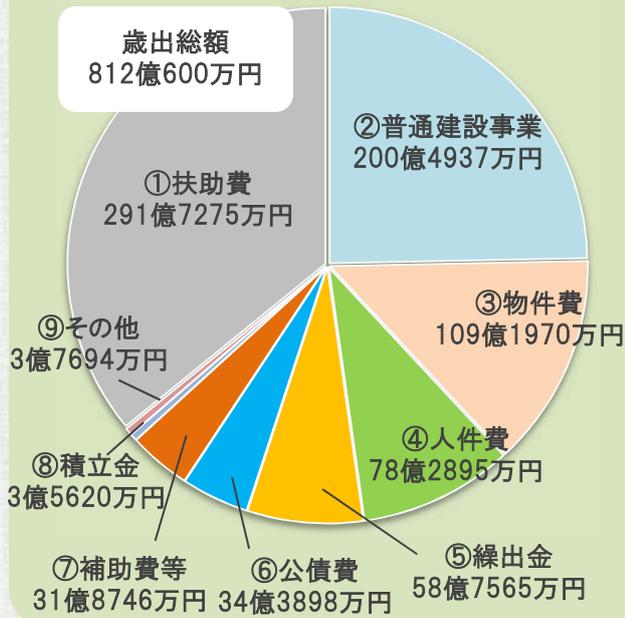
①民生費	子どもや高齢者、障がい者などが安心した生活を送るために使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営、スポーツの振興などに使うお金です。
③商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
④総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営するためのお金です。
⑤土木費	道路や公園、市営住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
⑥衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑦公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守るために使うお金です。
⑨議会費	議会を開催したり、議員のみなさんの給料を払ったりするお金です。
⑩その他	他にも「農林水産費（農業や漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧するための費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。
その中でも、子どもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

平成31年度 一般会計歳出予算（性質別）



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？
なんだか分かりにくいなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金などお金の使いみちが同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

①扶助費	医療や福祉など、生活を助けるための支援にかかるお金です。
②普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
③物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
⑤繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑥公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑦補助費等	他の団体への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑧積立金	特定の目的のためにある市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑨その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要なことにかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているのか、どのようなことに力を注いでいるのかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民のために行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪

4. 特別会計のはなし

特別会計の種類と今年予算額について



さて、次は「特別会計」のはなしじゃ。



特別会計ってのは確か...「特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算」だったよね。何で分けて管理するの？



分けて管理する理由を簡単に言うと、その特定の仕事をする時に、他の仕事に使うお金とは分けて管理した方が分かりやすかったり、仕事の責任が明確になるからじゃ。

沖縄市が特別会計として管理している予算は次のとおりじゃ。

土地区画整理事業特別会計

予算額：4億7453万円

美里第二地区の土地区画整理事業（道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業）を行うための会計

国民健康保険事業特別会計

予算額：159億5151万円

国民健康保険制度（国民を対象として、病気や怪我、出産、死亡に関して、必要な保険料が給付される制度）を運営するための会計

介護保険事業特別会計

予算額：96億7060万円

介護保険制度（介護が必要な高齢者などの生活の支援や、介護にかかる費用を社会全体で支える制度）を運営するための会計

後期高齢者医療事業特別会計

予算額：13億3806万円

後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者などの医療費を社会全体で支える制度）を運営するための会計

下水道事業特別会計

予算額：26億6383万円

公共下水道の整備や管理など、下水道に関する仕事を行うための会計

水道事業会計

予算額：45億6718万円

沖縄市水道局が行う水道に関する仕事を行うための会計

特別会計も
わかった！



5. 今年のまちづくり

沖縄市のまちづくりについて

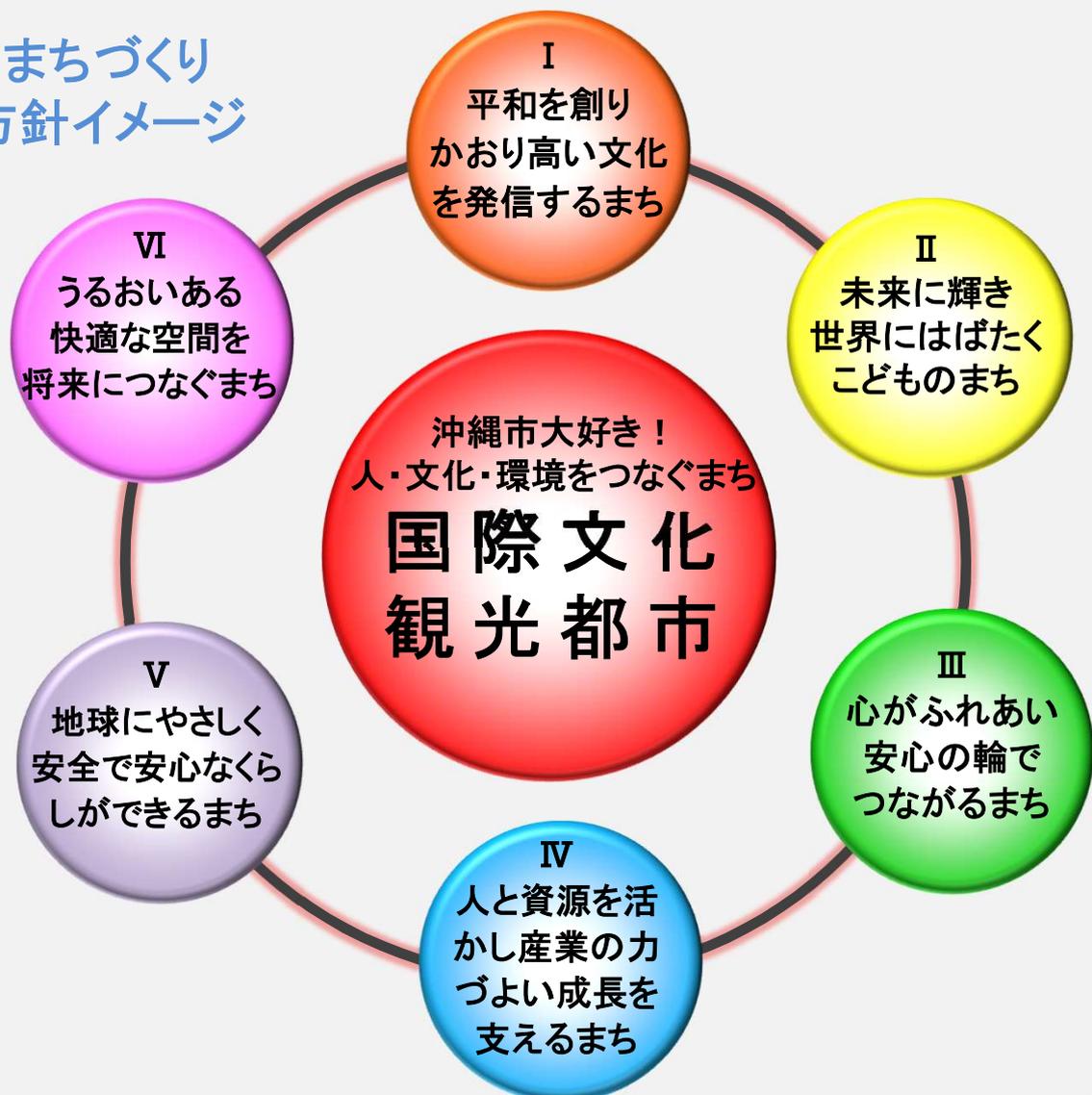


それじゃあ、これまで勉強した沖縄市の予算がどのような事に使われるのか、具体的な例を見るとしよう。沖縄市では「国際文化観光都市」を宣言していて、「健康で美しい沖縄市」、「明るくて住みよい沖縄市」、「平和で豊かな沖縄市」を市民の願い、望み、そして目標としているのじゃよ。



そうなんだ！なんだか、夢や希望が湧いてくるようまちづくりをめざしているんだね！ますます沖縄市が大好きになりそうだよ♪

まちづくり 方針イメージ



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

戦後文化資料等展示事業（予算額：約3079万円）

沖縄市は個性的な戦後史を歩み、ユニークな歴史文化を育んできました。この歴史文化をまちづくりに活かそうと、「沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリート（以下、ヒストリート）」を平成30年8月8日にパルミラ通りからコザ・ゲート通りへ移転、リニューアルオープンしました。ヒストリートでは、戦後沖縄市の歩みを紹介した常設展と企画展（年に数回）を開催するとともに、戦後情報誌「KOZA BUNKA BOX」やヒストリートのガイドブック等により沖縄市の戦後歴史文化情報を発信し、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を中心市街地に誘客し、活性化を図ります。



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

平和行政推進事業 (予算額：約1767万円)

沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために以下の取り組みを行います。

- ・『平和』をテーマに写真を募集する「市民の眼・平和写真展」
- ・市内各中学校から推薦された中学生17名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」
- ・市民団体等と共に実施する「平和月間企画展（8月1日から9月7日まで）」
- ・沖縄戦への理解を深めるため、県内市町村と開催する「おきなわピースフェスタ2019」
- ・平和大使の活動やイベント等を通して平和を発信する「沖縄市民平和の日記念行事（9月7日）」
- ・平和について学ぶ座学や、市内の戦跡等をガイドと共に巡る「市民平和講座」
- ・沖縄市平和イメージキャラクターソテツの妖精『キューナ』による地域や学校等への平和発信活動



I 平和を創りかおり高い文化を発信するまち

文化芸能推進事業 (予算額：約4148万円)

市民に文化芸能にふれる機会を提供することにより、個性豊かな市民文化を高めるための事業です。

文化芸能に対する関心や理解を深め、地域の文化振興を図るため、個性豊かな芸能などを紹介する

「おきなわ芸能フェスティバル」などのイベントを開催します。

また、市民が企画・運営する舞台公演などの文化芸能活動を支援しています。



図書館機能充実事業 (予算額：約4000万円)

沖縄市立図書館については、移転開館して3年目を迎え、多くの市民の皆さまに利用いただいております。今後さらに資料の充実を図り、生涯学習や文化交流の場として利用しやすい図書館にしていきます。

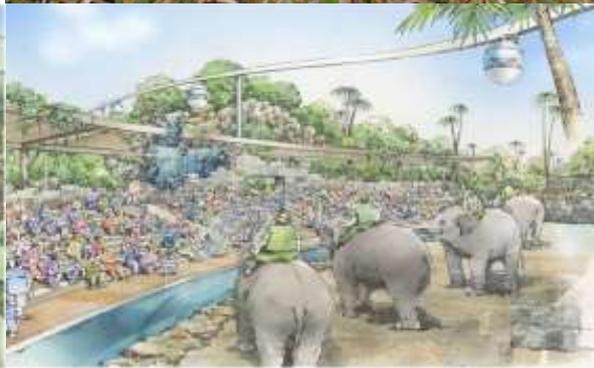
また、新しい車両になった移動図書館ちえぞう君も図書館から離れた地域を巡回し、市内全域での読書環境づくりに取り組んでいきます。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

沖縄こどもの国整備事業（予算額：約8億2634万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物に関することや自然科学など、色々なことを楽しみながら学ぶことができるよう整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

子育て世代包括支援センター事業

(予算額：約1259万円)

妊娠、出産、子育てについて、心配なこと、わからないこと等を相談する窓口です。妊産婦の方や赤ちゃん・子どもの方とそのご家族など、関わりのある方はどなたでもご相談いただいております。

また、妊娠した際には母子健康手帳を交付しており、面談を行っています。これから始まる新しい生活について、カラダやココロ、赤ちゃんを迎えるための生活についての情報提供も行っています。



若年妊産婦の居場所事業 (予算額：約2584万円)

主に18歳以下の妊産婦とその子を対象に、妊娠・出産・育児に関する相談等を行うことで、若年妊産婦が家庭や社会から孤立することなく、安全・安心な居場所で産前・産後が過ごせるよう支援するとともに、安定した生活を営めるよう自立に向けた支援を行います。居場所は、沖縄県助産師会母子未来センター内にあり、助産師、保育士、栄養士が相談・支援にあたります。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

越来小学校新增改築事業（予算額：約7億4036万円）

越来小学校の校舎は昭和48年から使われてきましたが、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建替えることになりました。

令和元年度は、仮設校舎の設置と既存校舎の一部解体を行い、新校舎の建設に着手し、令和3年4月から新しい校舎でのスタートを予定しています。



美東小学校校舎新增改築事業

（予算額：約22億3193万円）

美東小学校の校舎は昭和38年から使われてきましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えを行っております。

令和2年4月から新しい校舎でのスタートを予定しています。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

学力向上推進事業（予算額：約1億2183万円）

「夢や希望の実現に向かって歩み続ける幼児児童生徒の育成」をテーマに、わかる授業の充実をめざして指導方法の改善に取り組み、確かな学力の定着と教職員の指導力向上を支援する事業です。

主に、各種支援員の配置や学力調査の実施、小中学校連携の研究、英検等検定料の補助を行っています。



第2調理場改築事業（予算額：約3億1302万円）

市北部の小中学校に学校給食を提供している第2調理場は、昭和55年から使われていますが、調理場が狭く、建物や調理器具も古くなっています。

第2調理場を新しく建て替えをし、より安全安心な学校給食を提供するとともに、公立幼稚園への給食提供や、食物アレルギー対応のサービス向上を行います。令和元年度は土地購入と設計図面の作成などを行い、令和2年度から令和3年度にかけて工事を行います。完成は令和3年度の後半を予定しています。



Ⅱ 未来に輝き世界にはばたくこどものまち

こども医療費助成事業（予算額：約5億5112万円）

こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

通院は0歳から小学校6年生まで、入院は0歳から中学卒業までを対象としており、未就学児に対しては現物給付を導入しています。

※こども医療費助成事業における現物給付とは？

県内医療機関で受給資格者証を提示することにより、保険診療分が無料になる制度です。（ただし、自費分の支払いは発生します。）



Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

地域生活支援事業（予算額：約3億3054万円）

障がいの有無に関わらず、自立した日常生活または社会生活を送ることができる地域社会の実現をめざしています。

また、福祉の増進を図るため、地域の特性や利用者の状況に応じて、相談支援、意思疎通支援、日常生活用具の給付、移動支援、地域活動支援センター、日中一時支援、訪問入浴サービス、重度障害者等入院時コミュニケーション支援、居住サポートなどの事業を計画的に実施しています。



就労等支援事業（予算額：4934万円）

お仕事を探している方へ、相談や職場体験等で支援し、お仕事をされている方に対しては、お仕事が続けられるよう支援を行います。

また、講座や体験イベント等を開催し、若者の働く意識を高めるとともに、子育てをしている方への支援として、託児室を開設しています。



Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

認知症総合支援事業 (予算額：約2814万円)

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、関係機関や地域の方々の協力を得ながら必要な支援に取り組んでいます。

具体的には、認知症の方やそのご家族との関わりを持つことにより、早期診断・早期対応に向けた支援や、行方不明のおそれのある認知症高齢者を把握することができます。

令和元年度からは、より身近な地域で認知症の方やそのご家族への相談支援が行える体制を強化するため、市内7か所の地域型地域包括支援センターに、認知症地域支援推進員を配置しています。

※地域包括支援センターとは？

65歳以上の高齢者やご家族を対象に、介護や健康、生活など困っていること、悩んでいることに対し、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職種が相談や必要な支援を行っています。



Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

生活困窮者自立支援事業（予算額：約8862万円）

『自立相談支援』：生活保護に至る前の生活困窮者に対して、相談窓口を設置して本人が抱える課題を受け止め、包括的な支援計画を作成し、自立までの継続的な支援を行います。また、複合的な問題を抱える生活困窮者を早期に把握するために関係機関のネットワークづくりを行っています。



『住居確保給付金』：離職により住宅を失った又はそのおそれがある生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、住居確保の給付金（家賃）を有期で支給します。

『一時生活支援』：沖縄市を現在地とする住居を持たない生活困窮者を対象に、一時的に安全な居場所を確保し、安定した生活を取り戻すために必要な支援を行います。また、居住に困難を抱え、地域社会から孤立している生活困窮者を対象とし、一定期間、訪問等による見守りや生活支援を行います。

『就労準備支援』：沖縄市内の生活困窮者で、すぐに仕事に就けない方に対して就労セミナー等を行い、自立に向けた支援を行います。



『学習支援事業』：沖縄市内の被保護世帯のこども、並びに準要保護者のひとり親世帯のこどもに対し、高校進学に向けた学習支援を行います。

Ⅲ 心がふれあい安心の輪でつながるまち

健康づくり推進事業

(予算額：約1247万円)

「みんなでいきいき健やかに暮らせる社会」をめざし、介護を受けたり寝たきりになったりせず元気に日常生活を送れる期間を延ばすことを目標に、生活習慣病を予防するための健康づくりを支援しています。また、多くの市民へ健康づくりの大切さを伝える講演会、自治会で行う健康講話やヘルシーメニューの実習、運動や調理実習等の実践活動を行う各種教室などを行っています。また、健診を受ける、健康づくりに参加する、ウォーキングを実践する等で健康ポイントを貯めて特典が当たる「おきはくん健康ポイント事業」を平成29年度から実施しています。



予防接種事業

(予算額：約1億4324万円)

国が定める高齢者の予防接種を実施することで、接種者数の増加に取り組み、感染症による重症患者と死亡リスクの軽減を図るとともに、医療費の負担軽減を図ります。

また、こどもの麻しん・風しんの予防接種を受けていない子ども達に接種する機会を与え、感染症のまん延防止及び感染による合併症のリスクの軽減を図ります。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

沖縄アリーナ整備事業（予算額：約97億6869万円）

琉球ゴールデンキングスのホームゲームや、これまで沖縄で見る事が出来なかったコンサート等の開催が可能となり、県外からも観光客が訪れる本市の新たなランドマークとなる、一万人規模の多目的アリーナの建設を進めています。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

(仮称) 沖縄サーキット整備事業

(予算額：約3844万円)

モータースポーツを沖縄市の新たな観光資源とするため、サーキット整備に向けた取り組みを行っていきます。

モータースポーツの楽しさを多くの人に知ってもらうため、「コザモータースポーツフェスティバル」を開催するとともに、まずはいろいろなモータースポーツを行うことができる(仮称)モータースポーツ多目的広場の整備を進めます。



エイサー会館事業 (予算額：約4056万円)

エイサー会館では、エイサーに関する歴史や団体の紹介、道具や衣装の展示、楽器や演舞の体験、道じゅねーや沖縄全島エイサーまっりの映像の放映などを行い、一年を通してエイサーの魅力を発信しています。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

スポーツコンベンション推進事業

(予算額：約6911万円)

F C琉球や琉球ゴールデンキングスのホームタウンとしてチームと協力しながら応援を盛り上げ、ファンの拡大・ホームゲームへの誘客に努めています。

また、広島東洋カープをはじめとするスポーツ合宿やスポーツイベントの誘致・受入を積極的に行うほか、2020年東京オリンピック・パラリンピックに合わせて、スポーツ合宿をしやすい環境を整えます。



IV 人と資源を活かし産業の力づよい成長を支えるまち

観光宣伝事業（予算額：約1億60万円）

コザフリーWi-Fiの運営や、観光ポータルサイト「KOZ AWEB」、地域情報番組「コザの裏側」、観光情報誌「沖縄GO」の発刊・配布等による情報発信を行うほか、観光ガイドの養成及び修学旅行等の団体旅行の受け入れ、観光統計調査等、観光誘客のための様々な取り組みを行います。



創業・起業総合支援事業（予算額：約4205万円）

新しくビジネスを始めたい方のために、沖縄市一番街商店街の中にある「Startup Lab Lagoon（スタートアップラボラゲーン）」で、ビジネスの内容や方法、必要なお金の集め方などについての相談・アドバイスを行います。

また、コンピュータやインターネットを使ったお仕事ができるようになるための勉強や、3Dプリンタやレーザーカッターなどを使った新しいものづくりも体験できます。



V 地球にやさしく安全で安心なくらしができるまち

地域防災対策事業（予算額：約8099万円）

各種災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを推進します。

地震や津波、各種災害に備え、防災等に関する情報を市民に迅速・的確に伝えるための災害用備蓄品（食糧、飲料水等）の更新を致します。

また、地域防災力強化と防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の結成及び育成を推進し、防災資機材の整備を行います。

炊き出し訓練



避難訓練



防災訓練の実施

消火訓練、救出・救護訓練、避難訓練、炊き出し等の訓練。

いざという時に落ち着いて、的確な行動ができるように災害を想定した防災訓練を実施。



V 地球にやさしく安全で安心なくらしができるまち

保安灯設置事業（予算額：約6749万円）

夜間における市民の安全性を確保し、防犯環境づくりを推進するため、保安灯の新設及び改修を行ないます。

また、老朽化した水銀灯を電気料金の安いLED灯に取り替えることにより、保安灯電気料金を負担している自治会の負担軽減を図っています。



消防車車両購入事業（予算額：約4409万円）

救急活動に必要な高規格救急車が老朽化しており、新しく購入する必要があるため、最新の救急車と資機材を購入する事業です。

<購入車両>

（1）高規格救急自動車



Ⅵ うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

泡瀬市営住宅建替事業（予算額：約1億7029万円）

約40年前に建てられ、古くなった泡瀬市営住宅の建替事業です。色々な家族構成に対応できる、安心安全な住宅を提供できるように建て替えを行っていきます。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約132戸（全体数）
- (2) 事業期間：平成29年度～
令和4年度



公共交通活性化推進事業（予算額：約9673万円）

路線バスは、市民生活の足として重要な役割を担っていますが、自家用車普及などにより、バス利用者が減少し、バス路線の廃止や便数が減るなど、ますますバスが利用しにくい状況になりつつあります。

本事業では、バス事業者や関係機関等と連携を図りながら、路線バスの利用者を増やすための取り組みを行うとともに、沖縄市循環バスと称して市内のコミュニティバスを運行しており、市民の生活利便性の向上を図っていきます。



Ⅵ うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

安慶田地区土地区画整理事業

(予算額：約1億2148万円)

安慶田地区は、幅が狭く行き止まりとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、公園の配置、建物を建てる土地（宅地）の整理を行います。



中の町地区土地区画整理事業 (予算額：約5458万円)

中の町地区は、幅が狭く行き止まりとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、建物を建てる土地（宅地）の整理を行います。ミュージックタウンに隣接してゲート通り沿いに位置する住宅と店舗が混在した地区であるため、中心市街地の商業活性化につながるよう取り組みます。



Ⅵ うるおいある快適な空間を将来につなぐまち

市北部地区公園整備事業（予算額：約1億3020万円）

公園は、市民の憩いの場だけではなく、自然との触れ合いや自然環境の保全、地震などの災害時に避難場所としての役割があります。そのため、安全・安心で快適にすごせるまちづくりを目指した公園整備を行っており、市北部地区公園の整備を行っていきます。



東部海浜地区開発事業（予算額：約3560万円）

スポーツコンベンション拠点の形成に取り組むとともに、県内最大級のビーチを活かしたビーチフロント観光拠点の創出に向けた土地利用に取り組みます。また、PRイベントによる事業周知を行います。

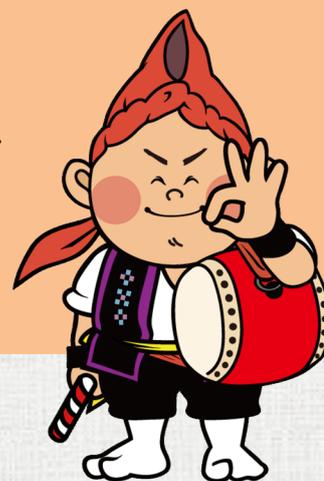


6. よさんが分かった♪

ここまで来れば君も予算が分かった！よね？
難しくて、ややこしそうな「予算」だけど、
中身をのぞいてみると、とっても大事なものな
んだってことが分かったはず。

市民のみんなから預かったお金が「予算」に
なって、学校や道路、公園を作ったり、家から
毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っ
ているんだ。

だから、これからも自分たちが負担したお金
が、何に使われているのかをちゃんと知って、
これから自分たちが何に使いたいの
かをみんなで決めていこう！そして、
自分たちの住むまちを、もっと便利で
安全な住みやすいまちにしていこう♪



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>